

# 根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園:湿地の観察会(2018/9/24 実施)～

参加者: 6名

昨日の雨は上がったようだが、空はまだ雲が覆っている。時おり雨が落ちてくるが、それほどひどい雨にはならなかった。

天気のせいかな？虫が少ないように感じるなかで、草むらにはオンブバッタがたくさん飛びかっていた。キチキチと音をたてるショウリョウバッタはいなかったように思う。



オンブバッタは親子ではなく夫婦



水面に浮く草につかまったギンヤンマ

空が少し明るくなってきたらセミがなきだした。ツクツクボウシやアブラゼミだが、鳴き方がなんとなくくたびれた鳴き方のような。暑かった夏もようやく終わりを上げるのか。昨日の気温は雨のため20℃以下だったが、今日は少し蒸し暑い。アオドウカネかと思われた甲虫はサクラコガネか？また草むらに赤い虫を見つけ、図鑑で調べる。ヒメホシカメムシかな？いやオオホシカメムシだということになった。さて？

他にコバネイナゴ、シオカラトンボ、ギンヤンマ、アオスジアゲハ、ナミアゲハ、ハラビロカミキリ、ツマグロオオヨコバイ、ナガコガネグモ、イオウヒロハシリグモ。そしてジョロウグモはいたるところに巣をかけているが、体はまだ小さかった。アマガエルの今年生まれたばかりの小さいのを見かける。花をつけたクズの葉にはオジロアシナガゾウムシがいた。まるでフンがおちているみたいだ。



色々と検討した結果オオホシカメムシと断定



分布を広げたシロバナサクラタデ

ミゾソバは花をつけ始めた。これからの季節の花だ。シロバナサクラタデ、ボントクタデ、ツルマメ、ヤブミョウガ、タカサブロウ、キツネノマゴは花の盛り。同じつるでもヤブマメの花はまだのようだ。草を刈ったあとではイボクサが小さな花をつけており、あちらでもこちらでもイボクサを見ることができたのはラッキーだった。



写真を撮るのが難しいボントクタデ



ミゾソバもタデ科です



種子ができ始めているオオイヌタデ



真っ赤なミズヒキもタデ科

ヌマガヤツリ、ヒメサルダヒコも数か所で見られ数が増えたのか。ヒメクグ、アゼガヤツリ、クサイ、イヌビエ、ケイヌビエ、マツカサススキ、チョウジタデ、タコノアシ、アオミズ、オオイヌタデ、イヌタデ、ミズヒキ、クワクサ、ヒヨドリジョウゴ、ヒレタゴボウ、ヒメジオン、ワレモコウ、ゲンノショウコ、ヤブガラシ、ヒナタイノコズチ、ヒカゲイノコズチ、キンエノコロ、ハキダメグク、メヒシバなども観察。



ふさふさの毛のケイヌビエ



カナムグラの雄花

アキノノゲシは毎年同じ場所で花を見かける。アカバナの咲くあたりは生い茂る草で近づけなかった。ノブドウ、ヨウシュヤマゴボウ、ジュズダマは結実。池のなかでアシは密集しているが、なんとなくごちゃごちゃしておりいつもの夏のように元気がない。刈られたマコモはまた花をつけていた。ヒメガマは穂。やぶのなかで元気なのはカナムグラ。あちこちを覆ってオバナがめだちメバナもすでに実をつけている。とげに気をつけながらかきわけてすすんだ。これはやっかいな草だ。

湿気が多いせいか木の幹にはカタツムリが悠々と進んでいる。やっと涼しくなったので、秋を期待したが、今、あき！は始まったばかり。ヒメジソの花やコブナグサの穂はまだ見られなかったがそろそろ出そろそう頃だ。



悠々と進むカタツムリ



大きな花を咲かせていたクズ



又マガヤツリがたくさん見られた

10月の湿地の観察会は、、、

**10月21日(日)**

**9:30 駐車場集合** (小雨決行) です。

遅れての参加、早めに帰宅など自由ですので、お気軽にご参加下さい。  
お問い合わせは下記メールまでお願いします。

[akihitoaizawa@gmail.com](mailto:akihitoaizawa@gmail.com) (相澤)